

路地百選推薦書【No.248】

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	長岡市和島はちすば通りと周辺の路地
所在地	新潟県長岡市島崎

【推薦する理由（路地のよいところ）】

旧和島村の中心地島崎の交差点から、良寛が晩年を過ごした木村家、良寛と弟・由之(ゆうし)の墓碑のある隆泉寺、子供らとかくれんぼをして遊んだ宇奈具志(うなぐし)神社や妙徳寺を結んで、良寛の里まで至る道を、歌集の『蓮の露(はちすのつゆ)』にちなんで「はちすば通り」と呼んでいる。

道幅は4m弱～5m弱程度で、地形に従って緩やかに登り、かつ、緩やかにカーブしており、両側に板塀や下見板張りの家屋が連なり、地形に従って独特の風情を醸している。また、このはちすば通りから両側に伸びる道いずれも幅員4m以下で、両側の建物に切り取られた田園風景等が美しい。現在、石畳など街並みに合った道路舗装や案内看板の設置などが検討されているとのこと。



はちすば通り（坂上から）



良寛墓



木村家



はちすば通りから脇に伸びる路地



はちすば通り(木村家前)



水車



はちすば通り（坂上方面を望む）

路地のまちの概要	面積	約	h a	路地の延長	約	m
特色等	まちの成り立ち、	旧和田村の中心地島崎。 良寛和尚が晩年に木村家に身を寄せ、地域の人々と穏やかな日々を送った。良寛が生涯で唯一氣を許した尼僧 貞心尼と出逢った場所としても知られている。木村家(良寛終焉地)や良寛墓など、良寛ファンが訪れる土地となっている。 過去に、出雲崎町などと合併して良寛市構想があったようであるが、現在は長岡市に吸収合併している。				

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。